

宣言(草案)

日本の社会的、思想的、経済的不安のトク底に於いて日本労働総同盟九州聯合會第六回年次大會は次の如き宣言する。

愈々激化して行く資本主義経済の本質的矛盾と不合理は遂に資本主義社會の根柢を動搖させ、露骨に資本主義の没落、破産を明確にした。資本家階級はその最後の生命策として最悪の労働条件を強制し、失業群の氾濫する街頭へ更に多くの労働階級を進放し、以て只だ一途に労働の犠牲と迫害を依つてその資本主義破綻の修正、再建を陰謀して労働階級の受難を加害する。資本家階級は労働者の生活権を擧げて堂々と戦ふ労働組合を極度に恐怖し、その金力と権力を総動員して労働組合の破壊と正殺に狂暴の限りを尽くすは明白である。来るべき年の我等の戦線こそ益々多難多端にして荆棘と受難の峻路に愈々激烈なる悪戦苦闘が續けられるであらう。

資本主義の最後の行き詰まりに於ける國際的國家主義経済の対立は内に於いては労働階級の貧者賃金値下り、労働の強化に依つて労働階級と生命の領地に迫り、共に外に於いてはカレンピンクに依る新市場の争奪、並に新植民地の獲得に狂奔し、國際經濟戦争が必然的に世界武力戦争を激発する危機が急迫して労働階級の犠牲と受難は急角度に加重する。

かくる情勢下に於いて、健美なる労働組合主義の旗の下に組織労働者三千萬を擁する日本労働組合會議の美力と信頼を通じて、労働階級と辛うじて守衛する自信を持ち得たが労働階級の生活の前途は尚深刻なる不安と苦難が重なり、横たわつてゐる。わが九州聯合會は健美なる總同盟精神に則し、九州の戦野に毅然として健美なる労働組合主義の大旗を高揚し、理解ある進歩的資本家に対しては健美なる労働組合として産業に対する協力を以て、頑然として無理解なる資本家に対しては、労働階級の生活権を擧げ、労働者の自主的組織と統制秩序ある大衆的圧力とを以て、徹底的克服までは断じて闘争の鋒を收めまい。更らに九州聯合會加盟組合の合理的経営には精進、細心の全力を傾倒して陣營を整備し、健美なる労働組合主義運動の理解の上に未組織労働者を教育獲得して陣容を拡大し、進んで日本労働總會會議九州地方協議會加盟団体、親睦、統制の樑となり、その健全なる發展に全力的に協力して、全九州に健美なる労働組合主義を徹底せしめる中心勢力となつて、わが九州聯合會の最後の目的に向つて勇往邁進するものである。

昭和八年十一月二日

日本労働総同盟九州聯合會第六回年次大會